

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公開番号】特開2017-168435(P2017-168435A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-34653(P2017-34653)

【国際特許分類】

H 01 M	4/13	(2010.01)
H 01 M	4/38	(2006.01)
H 01 M	4/62	(2006.01)
H 01 M	4/139	(2010.01)
H 01 M	10/0562	(2010.01)
H 01 M	10/052	(2010.01)
H 01 M	10/058	(2010.01)

【F I】

H 01 M	4/13	
H 01 M	4/38	Z
H 01 M	4/62	Z
H 01 M	4/139	
H 01 M	10/0562	
H 01 M	10/052	
H 01 M	10/058	

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月25日(2017.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

硫黄、導電材、バインダーおよびイオン液体もしくは溶媒和イオン液体から構成されることを特徴とするリチウム硫黄固体電池用正極材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

硫黄、導電材、バインダーおよびイオン液体もしくは溶媒和イオン液体から構成されるリチウム硫黄固体電池用正極材の製造方法であって、

酸化物系固体電解質成形体の片面に、正極を形成する部分を残してマスキングテープを貼付するステップと、

前記酸化物系固体電解質成形体の正極を形成する部分に、硫黄、導電材、バインダーおよびイオン液体もしくは溶媒和イオン液体から構成される正極スラリーを塗布し、均一に押し広げるステップと、

前記正極スラリーを真空乾燥して固化させた後、マスキングテープを取り除いて、酸化

物系固体電解質成形体上に正極を形成するステップと、  
を含むことを特徴とするリチウム硫黄固体電池用正極材の製造方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項23

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項23】

酸化物系固体電解質成形体の片面に負極金属を貼り合わせ加熱処理するステップと、  
前記酸化物系固体電解質成形体の負極を形成した面と反対側の面に、正極を形成する部分を残してマスキングテープを貼付するステップと、  
前記酸化物系固体電解質成形体の正極を形成する部分に、硫黄、導電材、バインダーおよびイオン液体もしくは溶媒和イオン液体から構成される正極スラリーを塗布し、均一に押し広げるステップと、  
前記正極スラリーを真空乾燥して固化させた後、マスキングテープを取り除いて、酸化物系固体電解質成形体上に正極を形成するステップと、  
を含むことを特徴とするリチウム硫黄固体電池の製造方法。